

第169回中小企業景況調査

2022年7～9月期

青 森 県

目 次

I 調 査 要 領	
1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 回収状況	1
II 要 約	2
1. 今期の景況	2
2. 来期の見通し	2
III 概 況	3
1. グラフ	
業況判断・売上額・製品商品在庫の動向	4
経常利益・資金繰り・従業員数の動向	5
2. 表	
業 況 判 断	6
売上額、売上(加工)数量・客数	7
輸出額・在庫水準・価格(仕入れ単価、売上単価)	8
経常利益・金融(資金繰り・長短借入難易度・借入金利)	9
従業員数・従業員数過不足	10
設備投資実施割合・生産設備過不足	11
経営上の問題点	12

I 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2022年9月1日
(2) 調査対象期間 2022年7～9月期実績及び2022年10～12月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業、卸売業については、資本金1億円以下又は従業員100人以下の企業、小売業については、資本金5千万円以下又は従業員50人以下の企業、サービス業については、資本金5千万円以下又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(なお、各産業のうち「小規模」とあるのは、製造業及び建設業における従業員20人以下の、卸売業、小売業及びサービス業における従業員5人以下の企業規模を指し、その他は「中規模」と区分した。)

3. 調査方法

原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。

4. 回収状況

288企業のうち、268企業の回答を得た（有効回答率 93.1%）。

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	55	(19.1)	53	(19.8)	96.4
建設業	35	(12.2)	35	(13.1)	100.0
卸売業	20	(6.9)	18	(6.7)	90.0
小売業	73	(25.3)	66	(24.6)	90.4
サービス業	105	(36.5)	96	(35.8)	91.4
合計	288	(100.0)	268	(100.0)	93.1

注：()内は構成比 (%)

Ⅱ 要 約

1. 今期の景況

2022年7～9月期の全産業の業況判断DI（前年同期比「好転」－「悪化」）は、前年同期比（2021年7～9月期）の $\Delta 40.7$ から $\Delta 31.5$ と $+9.2$ と好転した。産業別で見ると、建設業は -1.9 （ $\Delta 18.1 \searrow \square \Delta 20.0$ ）製造業 -3.4 （ $\Delta 23.0 \searrow \square \Delta 26.4$ ）、卸売業は -5.3 （ $\Delta 12.4 \searrow \square \Delta 17.7$ ）とやや悪化となったが、小売業 $+20.7$ （ $\Delta 63.8 \nearrow \square \Delta 43.1$ ）、サービス業 $+15.9$ （ $\Delta 48.9 \nearrow \square \Delta 33.0$ ）と好調であり、全産業を牽引する形となった。全産業の業況水準判断DI（今期の水準「良い」－「悪い」）は、前年同期（2021年7～9月期）の $\Delta 44.1$ 、前期（2022年4～6月期）の $\Delta 31.4$ に対して、今期は $\Delta 36.2$ となった。産業別に前年同期と比して見ると、製造業 -6.6 （ $\Delta 29.4 \searrow \square \Delta 36.0$ ）、建設業 -10.5 （ $\Delta 15.2 \searrow \square \Delta 25.7$ ）と低調となったのに対し、小売業 $+26.3$ （ $\Delta 67.2 \nearrow \square \Delta 40.9$ ）、卸売業 $+15.9$ （ $\Delta 43.6 \nearrow \square \Delta 27.7$ ）、サービス業 $+9.3$ （ $\Delta 47.8 \nearrow \square \Delta 38.5$ ）の順に上昇した。

売上額DI（前年同期比「増加」－「減少」）については、全産業では前年同期 $\Delta 35.2$ に対して、今期は $\Delta 21.6$ となり $+13.6$ と2期連続で回復傾向が続いた。産業別では、前年同期と比して、サービス業 $+32.4$ （ $\Delta 49.0 \nearrow \square \Delta 16.6$ ）卸売業 $+29.8$ （ $\Delta 18.6 \nearrow \square \Delta 11.2$ ）、小売業も $+8.7$ （ $\Delta 46.5 \nearrow \square \Delta 37.8$ ）と増加、製造業 $+0.2$ （ $\Delta 15.3 \rightarrow \Delta 15.1$ ）はほぼ横ばい、建設業は -16.4 （ $\Delta 15.1 \searrow \square \Delta 31.5$ ）と低下した。

経常利益DI（前年同期比「好転」－「悪化」）においては、全産業では、前年同期 $\Delta 41.2$ 、前期 $\Delta 37.8$ に対して今期は $\Delta 39.0$ となった。産業別では、前年同期で比べると小売業 8.1 （ $\Delta 53.5 \nearrow \Delta 45.4$ ）、サービス業 7.2 （ $\Delta 42.6 \nearrow \Delta 35.4$ ）、製造業 $+1.4$ （ $\Delta 39.2 \nearrow \Delta 37.8$ ）の順で増加、建設業 -3.6 （ $\Delta 36.4 \searrow \square \Delta 40.0$ ）、卸売業は -29.2 （ $\Delta 6.1 \rightarrow \Delta 35.3$ ）と大幅に悪化した。

（注） DIとは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から、「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

なお、前期比（季調済）は、X12-ARIMA（X11デフォルト）により季節調整を行った値である。

2. 来期の見通し

全産業としては、前年同期と比して、売上の改善、経常利益の伸びも見受けられたが、産業別で見ると、小売とサービス業が回復傾向を示し、製造は横ばい、建設が苦戦し、卸売業は、売上は増加したものの、仕入単価の上昇の影響で利益は上がっていない、という状況となった。交易条件指数（本調査のデータからは、売上単価DI-仕入単価DIで推計）で見ると、卸売業以外の産業では仕入単価上昇分を売上でカバーできていない、価格転嫁に遅れがあることが懸念される。

コロナ禍ながらも行動制限等の緩和で、生活関連消費を中心とした需要の回復傾向は期待はできるものの、引き続き、世界的な資源高、円安傾向等により、家計にも企業間取引にも負担増が懸念される。また、新型コロナウイルスの第8波、変異ウイルスによって、来期も耐久消費財やレジャー等への躊躇い、慢性的な人手不足感が生じる可能性は否定できず、引き続き、不安材料の多い状況が予想される。

Ⅱ 概 況

全産業（2022年7～9月期）

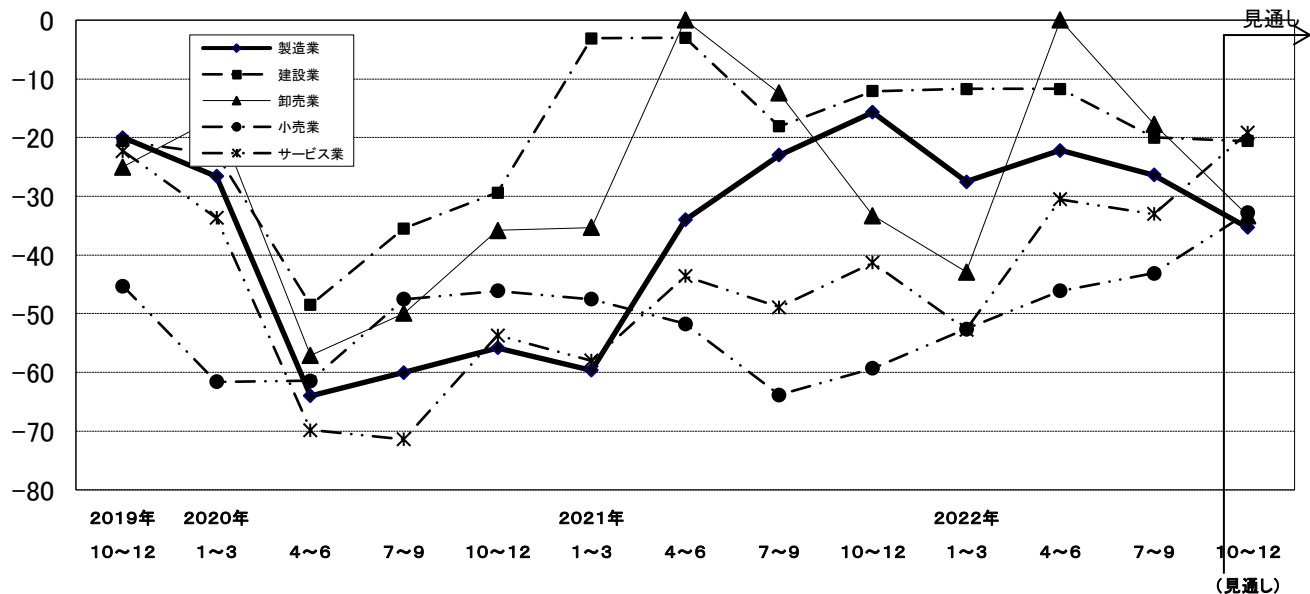
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
2021年7～9月実績	△ 40.7	△ 33.6	△ 44.1	△ 35.2	△ 36.2	5.7	△ 41.2	△ 28.4	△ 23.4	△ 18.6
2021年10～12月実績	△ 36.0	△ 32.7	△ 39.5	△ 33.5	△ 28.2	4.0	△ 38.4	△ 26.5	△ 26.8	△ 19.1
2022年1～3月実績	△ 41.4	△ 26.2	△ 46.5	△ 38.7	△ 17.3	2.4	△ 47.1	△ 27.3	△ 24.4	△ 13.5
2022年4～6月実績	△ 28.5	△ 19.4	△ 31.4	△ 23.7	△ 15.7	3.1	△ 37.8	△ 15.9	△ 14.1	△ 26.0
2022年7～9月実績	△ 31.5	△ 30.0	△ 36.2	△ 21.6	△ 20.8	4.0	△ 39.0	△ 21.3	△ 19.1	△ 23.1
2022年10～12月見通し	△ 26.8	△ 27.7	—	△ 23.5	—	—	△ 37.0	△ 23.6	—	—

産業別（2022年7～9月期）

	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
製造業	△ 26.4	△ 31.8	△ 36.0	△ 15.1	△ 18.6	△ 11.7	△ 37.8	△ 20.8	△ 15.8	△ 25.0
建設業	△ 20.0	△ 26.5	△ 25.7	△ 31.5	△ 38.1	—	△ 40.0	△ 8.6	△ 9.2	△ 42.9
卸売業	△ 17.7	△ 42.1	△ 27.7	11.2	10.3	38.9	△ 35.3	△ 11.7	△ 6.1	△ 16.7
小売業	△ 43.1	△ 34.7	△ 40.9	△ 37.8	△ 23.9	4.6	△ 45.4	△ 32.8	△ 31.0	△ 14.8
サービス業	△ 33.0	△ 25.1	△ 38.5	△ 16.6	△ 14.8	—	△ 35.4	△ 20.2	△ 17.8	△ 20.5

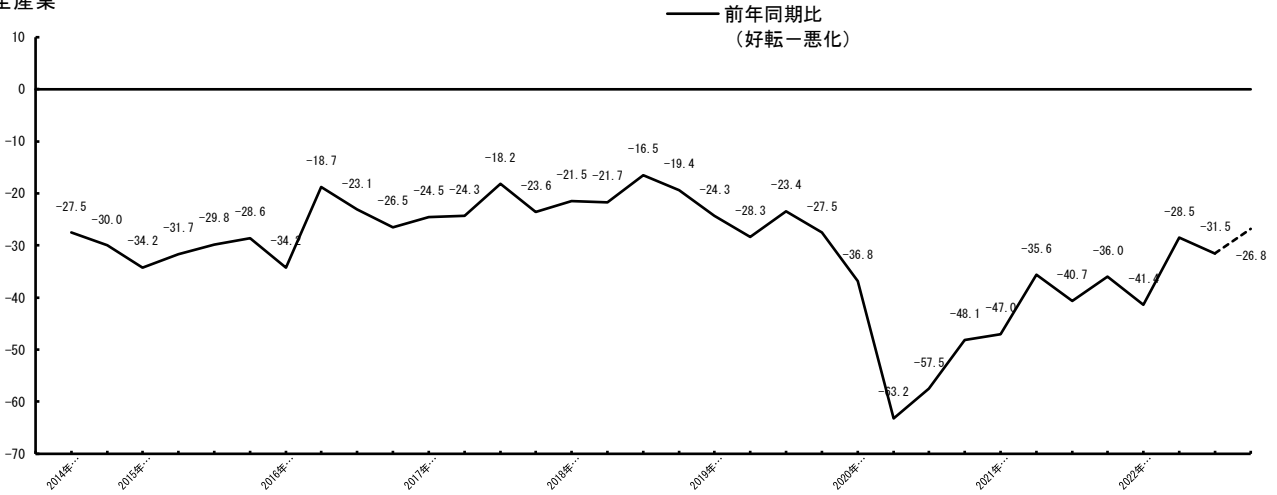
注：製造業の輸出額DI（前年同期比）は △ 14.3 生産設備過不足DI（今期の水準）は △ 16.0

産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移
(2019年10～12月期～2022年7～9月期)



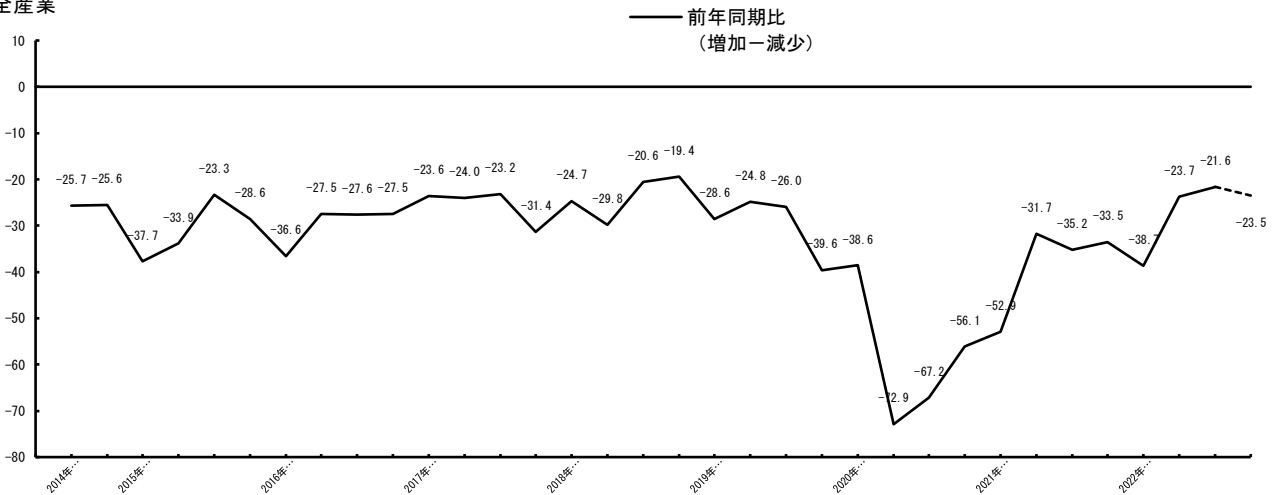
業況判断の動向（D I）

全産業



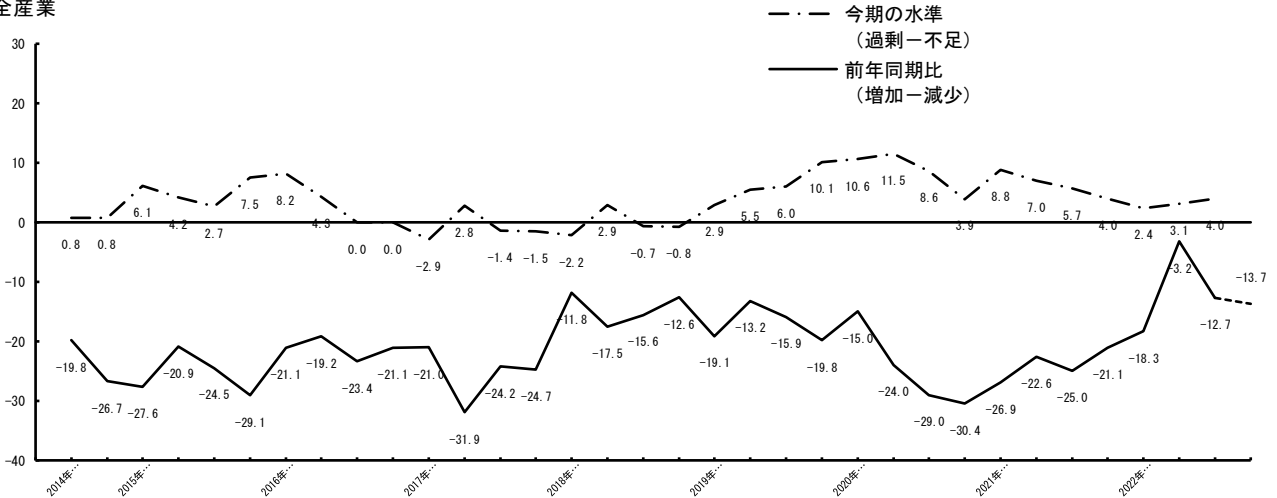
売上額の動向（D I）

全産業



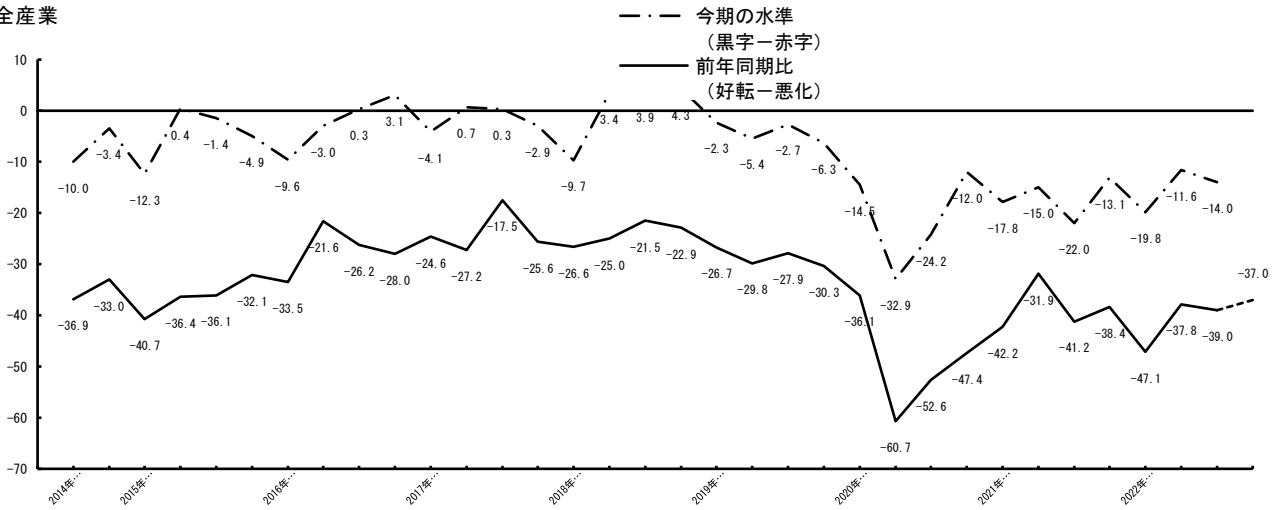
製品・商品在庫の動向（D I）

全産業



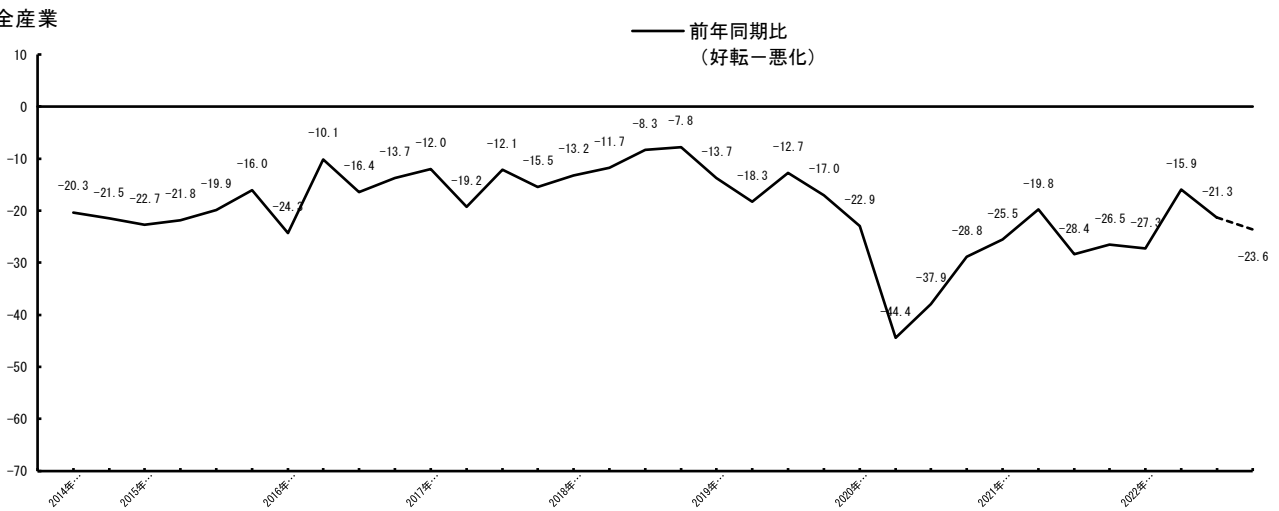
経常利益の動向（D I）

全産業



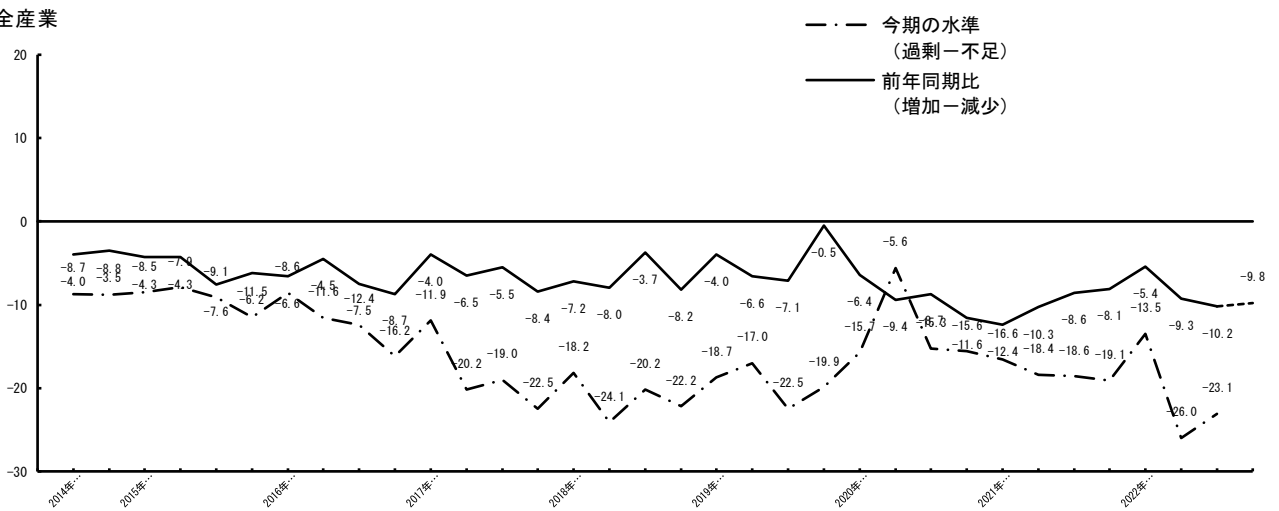
資金繰りの動向（D I）

全産業



従業員数（臨時・パート等を含む）の動向（D I）

全産業



業況判断D I（「好転」－「悪化」）

		実 績					来期見通し	
		2021年 7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	
全 産 業	前年同期比	△ 40.7 (△ 38.8)	△ 36.0 (△ 38.2)	△ 41.4 (△ 28.2)	△ 28.5 (△ 36.4)	△ 31.5 (△ 24.3)	△ 26.8	
	[前期比・季調済]	[△ 33.6] (△ 27.5)	[△ 32.7] (△ 31.7)	[△ 26.2] (△ 28.6)	[△ 19.4] (△ 33.2)	[△ 30.0] (△ 11.4)	[△ 27.7]	
製 造 業	前年同期比	△ 23.0 (△ 24.5)	△ 15.7 (△ 22.0)	△ 27.5 (△ 11.8)	△ 22.2 (△ 22.0)	△ 26.4 (△ 20.4)	△ 35.3	
	[前期比・季調済]	[△ 17.7] (△ 14.4)	[△ 3.7] (△ 18.7)	[△ 3.7] (△ 8.6)	[△ 14.0] (△ 16.5)	[△ 31.8] (△ 11.5)	[△ 38.1]	
建 設 業	前年同期比	△ 18.1 (△ 36.3)	△ 12.1 (△ 30.3)	△ 11.7 (△ 27.3)	△ 11.7 (△ 15.6)	△ 20.0 (△ 27.3)	△ 20.6	
	[前期比・季調済]	[△ 18.8] (△ 31.0)	[△ 15.1] (△ 30.2)	[△ 9.3] (△ 33.6)	[△ 13.3] (△ 9.7)	[△ 26.5] (△ 18.9)	[△ 25.5]	
卸 売 業	前年同期比	△ 12.4 (△ 13.3)	△ 33.3 (0.0)	△ 42.9 (△ 20.0)	0.0 (△ 33.4)	△ 17.7 (13.3)	△ 33.3	
	[前期比・季調済]	[△ 2.2] (△ 9.9)	[△ 42.0] (△ 0.3)	[△ 29.7] (△ 24.5)	[△ 29.1] (△ 27.8)	[△ 42.1] (1.8)	[△ 24.4]	
小 売 業	前年同期比	△ 63.8 (△ 51.7)	△ 59.3 (△ 49.9)	△ 52.6 (△ 39.7)	△ 46.1 (△ 45.5)	△ 43.1 (△ 32.3)	△ 32.8	
	[前期比・季調済]	[△ 49.1] (△ 40.0)	[△ 55.0] (△ 40.3)	[△ 34.8] (△ 39.1)	[△ 23.6] (△ 42.0)	[△ 34.7] (△ 16.3)	[△ 28.7]	
サ ー ビ ス 業	前年同期比	△ 48.9 (△ 43.4)	△ 41.3 (△ 48.9)	△ 52.7 (△ 31.5)	△ 30.5 (△ 46.2)	△ 33.0 (△ 26.3)	△ 19.2	
	[前期比・季調済]	[△ 45.3] (△ 29.4)	[△ 39.0] (△ 36.9)	[△ 43.7] (△ 34.8)	[△ 15.6] (△ 46.6)	[△ 25.1] (△ 8.6)	[△ 20.3]	

注：（ ）内は1期前における当期見通し

業況水準判断D I（「良い」－「悪い」）

		今 期 の 水 準				
		2021年 7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
全 産 業		△ 44.1	△ 39.5	△ 46.5	△ 31.4	△ 36.2
製 造 業		△ 29.4	△ 17.7	△ 38.5	△ 22.2	△ 36.0
建 設 業		△ 15.2	△ 21.2	△ 15.1	△ 17.7	△ 25.7
卸 売 業		△ 43.6	△ 43.6	△ 46.6	△ 5.2	△ 27.7
小 売 業		△ 67.2	△ 62.7	△ 62.2	△ 47.6	△ 40.9
サ ー ビ ス 業		△ 47.8	△ 42.6	△ 52.1	△ 35.4	△ 38.5

売上額D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し	
		2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
全 産 業	前年同期比	△ 35.2 (△ 40.5)	△ 33.5 (△ 36.3)	△ 38.7 (△ 25.7)	△ 23.7 (△ 39.8)	△ 21.6 (△ 12.4)	△ 23.5	
	[前期比・季調済]	[△ 36.2]	[△ 28.2]	[△ 17.3]	[△ 15.7]	[△ 20.8]	[———]	
製 造 業	前年同期比	△ 15.3 (△ 25.0)	△ 2.0 (△ 15.4)	△ 3.8 (△ 5.9)	△ 3.7 (△ 7.7)	△ 15.1 (3.7)	△ 11.3	
	[前期比・季調済]	[△ 19.0]	[△ 7.4]	[8.8]	[6.0]	[△ 18.6]	[———]	
建 設 業	前年同期比	△ 15.1 (△ 30.3)	△ 12.1 (△ 39.4)	△ 23.5 (△ 36.4)	△ 36.4 (△ 38.2)	△ 31.5 (△ 39.4)	△ 42.8	
	[前期比・季調済]	[△ 18.0]	[△ 13.2]	[△ 14.1]	[△ 40.5]	[△ 38.1]	[———]	
卸 売 業	前年同期比	△ 18.6 (△ 31.3)	△ 56.1 (△ 6.3)	△ 46.7 (△ 13.4)	0.1 (△ 60.0)	11.2 (15.8)	0.0	
	[前期比・季調済]	[5.0]	[△ 39.6]	[△ 42.7]	[△ 9.8]	[10.3]	[———]	
小 売 業	前年同期比	△ 46.5 (△ 56.4)	△ 47.5 (△ 43.1)	△ 46.5 (△ 32.3)	△ 30.8 (△ 39.6)	△ 37.8 (△ 23.2)	△ 30.2	
	[前期比・季調済]	[△ 43.2]	[△ 41.6]	[△ 20.9]	[△ 18.6]	[△ 23.9]	[———]	
サ ー ビ ス 業	前年同期比	△ 49.0 (△ 43.6)	△ 45.8 (△ 47.9)	△ 56.9 (△ 30.8)	△ 30.9 (△ 54.7)	△ 16.6 (△ 10.4)	△ 23.0	
	[前期比・季調済]	[△ 59.4]	[△ 31.3]	[△ 37.6]	[△ 8.9]	[△ 14.8]	[———]	

注：() 内は1期前における当期見通し

売上(加工)数量・客数の動向D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し	
		2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
製 造 業 売上(加工)数量	前年同期比	△ 15.4 (△ 21.1)	△ 9.8 (△ 15.4)	△ 13.5 (△ 13.7)	△ 5.5 (△ 9.6)	△ 13.4 (0.0)	△ 17.3	
	[前期比・季調済]	[△ 15.6]	[△ 10.0]	[0.2]	[6.8]	[△ 25.8]	[———]	
小 売 業 客 数	前年同期比	△ 66.2 (△ 58.1)	△ 58.7 (△ 57.8)	△ 58.6 (△ 49.1)	△ 57.0 (△ 53.4)	△ 53.0 (△ 35.5)	△ 43.9	
	[前期比・季調済]	[△ 54.3]	[△ 50.0]	[△ 35.2]	[△ 34.3]	[△ 43.8]	[———]	
サ ー ビ ス 業 利 用 客 数	前年同期比	△ 46.8 (△ 40.8)	△ 44.7 (△ 48.9)	△ 55.7 (△ 37.5)	△ 24.2 (△ 50.4)	△ 24.2 (△ 24.0)	△ 26.3	
	[前期比・季調済]	[△ 57.6]	[△ 40.7]	[△ 38.5]	[△ 13.7]	[△ 22.7]	[———]	

注：() 内は1期前における当期見通し

輸出額D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
製造業	△ 15.4 (0.0)	△ 14.3 (△ 7.7)	△ 14.3 (△ 21.4)	△ 7.7 (△ 14.3)	△ 14.3 (△ 7.1)	△ 14.3

注：()内は1期前における当期見通し

在庫水準判断D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全産業	5.7	4.0	2.4	3.1	4.0
製造業	△ 10.4	△ 8.3	△ 2.0	△ 10.9	△ 11.7
卸売業	50.0	25.0	20.0	15.8	38.9
小売業	6.9	8.4	1.8	9.4	4.6

価格の動向

	仕入単価D I (「上昇」-「低下」) 前年同期比				
	2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
	全産業	39.3	49.2	60.7	72.6
製造業	70.3	76.0	80.8	89.6	91.5
建設業	54.5	78.8	76.6	88.2	88.5
卸売業	31.2	43.6	53.3	78.9	88.9
小売業	35.1	35.5	56.9	57.9	62.1
サービス業	21.7	34.8	48.4	66.9	51.0

		売上単価D I (「上昇」-「低下」)				
		2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全産業	前年同期比	△ 23.2	△ 18.7	△ 17.7	△ 1.3	△ 0.9
	[前期比・季調済]	[△ 18.9]	[△ 18.4]	[△ 14.1]	[△ 3.8]	[1.3]
製造業	前年同期比	7.7	2.0	21.2	18.5	30.2
	[前期比・季調済]	[2.7]	[△ 0.6]	[11.5]	[12.7]	[19.4]
卸売業	前年同期比	0.0	12.5	20.0	57.8	82.4
	[前期比・季調済]	[12.1]	[10.2]	[23.8]	[54.8]	[68.3]
小売業	前年同期比	△ 44.9	△ 27.7	△ 34.4	△ 17.0	△ 27.3
	[前期比・季調済]	[△ 29.5]	[△ 30.7]	[△ 23.7]	[△ 17.1]	[△ 15.7]
サービス業	前年同期比	△ 30.8	△ 29.7	△ 34.7	△ 13.7	△ 14.6
	[前期比・季調済]	[△ 31.2]	[△ 24.7]	[△ 28.2]	[△ 12.6]	[△ 8.9]

経常利益D I (「好転」－「悪化」)

	前 年 同 期 比					
	実 績					来期見通し
	2021年 7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
全 産 業	△ 41.2 (△ 36.7)	△ 38.4 (△ 41.6)	△ 47.1 (△ 35.6)	△ 37.8 (△ 42.6)	△ 39.0 (△ 36.8)	△ 37.0
製 造 業	△ 39.2 (△ 34.0)	△ 27.5 (△ 38.5)	△ 34.6 (△ 23.6)	△ 33.3 (△ 23.5)	△ 37.8 (△ 28.9)	△ 39.6
建 設 業	△ 36.4 (△ 30.3)	△ 27.3 (△ 45.4)	△ 26.5 (△ 39.4)	△ 29.4 (△ 44.1)	△ 40.0 (△ 39.4)	△ 47.1
卸 売 業	△ 6.1 (△ 17.7)	△ 31.1 (△ 6.2)	△ 26.7 (△ 18.7)	0.0 (△ 26.6)	△ 35.3 (5.5)	△ 38.9
小 売 業	△ 53.5 (△ 46.9)	△ 47.5 (△ 47.4)	△ 62.0 (△ 37.3)	△ 52.2 (△ 51.7)	△ 45.4 (△ 50.8)	△ 43.1
サービス業	△ 42.6 (△ 37.4)	△ 43.6 (△ 44.6)	△ 55.2 (△ 42.6)	△ 40.6 (△ 49.5)	△ 35.4 (△ 39.0)	△ 27.4

注：()内は1期前における当期見通し

金融の動向

		2021年 7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
資金繰りD I 「好転」－「悪化」	全産業	△ 28.4 [△ 23.4]	△ 26.5 [△ 26.8]	△ 27.3 [△ 24.4]	△ 15.9 [△ 14.1]	△ 21.3 [△ 19.1]
	製造業	△ 17.3 [△ 15.1]	△ 19.6 [△ 16.3]	△ 11.6 [△ 18.9]	△ 7.6 [△ 5.6]	△ 20.8 [△ 15.8]
長期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[△ 15.7]	[△ 9.3]	[△ 13.6]	[△ 6.5]	[△ 12.2]
	製造業	[△ 7.6]	[△ 8.6]	[△ 11.1]	[△ 12.0]	[△ 12.8]
短期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[△ 9.9]	[△ 6.3]	[△ 10.0]	[△ 6.3]	[△ 6.8]
	製造業	[△ 2.3]	[△ 4.1]	[△ 5.2]	[△ 6.5]	[△ 5.7]
借入金利D I 「上昇」－「低下」	全産業	[△ 2.7]	[△ 3.3]	[△ 4.7]	[△ 2.4]	[2.7]
	製造業	[△ 2.4]	[△ 6.7]	[△ 10.3]	[△ 1.5]	[△ 0.1]

注：[]内は前期比(季調済)、それ以外は前年同期比

従業員数D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	△ 8.6 (△ 9.8)	△ 8.1 (△ 9.5)	△ 5.4 (△ 9.1)	△ 9.3 (△ 3.7)	△ 10.2 (△ 4.6)	△ 9.8
製造業	△ 10.2 (△ 4.1)	△ 10.4 (△ 6.1)	△ 14.3 (△ 14.6)	△ 4.2 (△ 6.3)	△ 14.3 (△ 6.4)	△ 10.2
建設業	△ 6.1 (△ 9.4)	△ 6.1 (△ 12.1)	△ 2.9 (△ 15.2)	△ 15.1 (△ 8.8)	△ 14.7 (△ 18.8)	△ 20.6
卸売業	0.0 (△ 5.9)	△ 6.3 (△ 6.3)	0.0 (△ 6.3)	0.0 (△ 7.2)	0.0 (△ 0.0)	0.0
小売業	0.0 (△ 2.2)	△ 2.2 (△ 4.5)	2.2 (△ 2.2)	△ 7.4 (△ 4.5)	△ 9.6 (△ 7.3)	△ 7.7
サービス業	△ 15.3 (△ 21.3)	△ 11.5 (△ 14.1)	△ 6.2 (△ 10.2)	△ 13.4 (△ 6.1)	△ 8.5 (△ 4.8)	△ 8.5

注：()内は1期前における当期見通し

従業員数過不足D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2021年 7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全産業	△ 18.6	△ 19.1	△ 13.5	△ 26.0	△ 23.1
製造業	△ 8.3	△ 14.6	△ 2.0	△ 33.4	△ 25.0
建設業	△ 54.5	△ 48.5	△ 45.5	△ 50.0	△ 42.9
卸売業	0.0	6.3	6.7	△ 15.8	△ 16.7
小売業	△ 6.2	△ 8.5	△ 4.5	△ 14.6	△ 14.8
サービス業	△ 21.2	△ 21.0	△ 16.0	△ 21.7	△ 20.5

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100）単位：％

	実 績					来期計画	
	2021年 7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	
全 産 業	16.9	14.0	12.2	13.9	12.2	14.4	
製 造 業	9.8	8.7	6.7	8.3	7.7	13.2	
建 設 業	21.2	15.2	23.5	26.5	11.4	25.7	
卸 売 業	31.2	6.7	20.0	10.5	5.9	11.8	
小 売 業	18.2	9.1	7.0	11.3	12.7	10.9	
サービス業	16.0	20.2	12.6	14.6	15.6	13.8	

生産設備過不足感D I（「過剰」－「不足」）

	今 期 の 水 準				
	2021年 7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
製 造 業	△ 9.8	△ 7.8	△ 5.8	△ 15.1	△ 16.0

経営上の問題点

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	原材料価格の上昇 32.7 (50.0) 〔 36.2 〕	需要の停滞 16.3 (17.3) 〔 14.9 〕	従業員の確保難 12.2 (11.5) 〔 19.1 〕	生産設備の不足・老朽化 10.2 (5.8) 〔 10.6 〕	原材料の不足 10.2 (3.8) 〔 2.1 〕
建設業	材料価格の上昇 45.7 (44.1) 〔 36.4 〕	従業員の確保難 14.3 (8.8) 〔 9.1 〕	材料の入手難 11.4 (5.9) 〔 15.2 〕	官公需要の停滞 11.4 (11.8) 〔 15.2 〕	下請業者の確保難 8.6 (8.8) 〔 0.0 〕
卸売業	仕入単価の上昇 47.1 (47.1) 〔 26.7 〕	需要の停滞 17.6 (11.8) 〔 20.0 〕	従業員の確保難 11.8 (5.9) 〔 6.7 〕	小売業の進出による競争の激化 5.9 (5.9) 〔 6.7 〕	店舗・倉庫の狭隘・老朽化 5.9 (0.0) 〔 6.7 〕
小売業	仕入単価の上昇 33.3 (18.8) 〔 21.4 〕	大・中型店の進出による競争の激化 15.0 (25.0) 〔 14.3 〕	購買力の他地域への流出 11.7 (4.7) 〔 17.9 〕	需要の停滞 11.7 (21.9) 〔 17.9 〕	販売単価の低下・上昇難 5.0 (6.2) 〔 5.4 〕
サービス業	材料等仕入単価の上昇 16.7 (23.9) 〔 12.9 〕	利用者ニーズの変化への対応 13.3 (18.2) 〔 15.3 〕	需要の停滞 13.3 (11.4) 〔 21.2 〕	人件費以外の経費の増加 12.2 (8.0) 〔 8.2 〕	店舗施設の狭隘・老朽化 8.9 (9.1) 〔 11.8 〕

注： () 内は前期構成比
〔 〕 内は前々期構成比 いずれも問題点の1位にあげた企業の割合